



NO. 973

2014/6/8

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七

来春の
市議選

飯田敏勝議員勇退 後継者に菊地宏氏を擁立

日本共産党網走市委員会は、3日、エコーセンター内で記者会見し、来年4月に実施される網走市議候補者を発表しました。



市民の暮らし・福祉・教育などを
守るために必要な議席であり、憲
法の精神を地方自治に生かしてい
くのが日本共産党の役割です」と
述べました。

来年の市議会議員選挙の候補に
ついて、「私は、引き続き議員を続
けますが、議員団長の飯田敏勝議
員は、今期をもって勇退すること
になりました。後継者として、日本
共産党網走市副委員長の菊地宏
氏を候補者として擁立する」と発
表しました。

飯田敏勝議員の挨拶

松浦敏司網走市委員長は、「安
倍政権は、消費税増税や社会保
障の削減で、国民の暮らし・福祉・
医療・教育が大きな打撃を受け
ている。また、国民世論を無視し、
憲法9条を骨抜きにする『集団
的自衛権の行使』を数の暴力で押
し通そうとしている。」

「このような中で、来年の市議選
が戦われます。国の悪政から住民
を守るのが、地方自治体の大事な
仕事です。日本共産党の2議席は、

例えば15年前、市役所のあと6
年半いました札幌市の丸井今井女
子陸上部の監督から、大江道男氏
の後継者として立候補し、大激戦
の中、当選させていただきました。
その当時は、国の景気誘導策に
のつて市の身の丈をこえる大型開発
事業のつげが市の財政を圧迫し、
市民に痛みの伴う行財政改革が断
行されていた最中でした。
そのなかで、国の悪政の防波堤と
なる議員として、市役所勤務24年
の経験を生かし、常に市民の立場
に立ち、市政を監視し、限られた
予算を暮らし密着型の事業の推進
と身の丈に合った財政運営を求め
て、4期15年間頑張つてまいまし

た。

今回私は、70歳を一つの区切りとし、
かけがいのない共産党の議席を後輩に託
していく事を決意いたしました。さいわい
菊地宏さんが、今の市民の厳しいくらし
の状況に對して、そこに寄り添い、市民
の要求を実現していくために候補を決意
していただき、最高の形で引き継ぐこと
ができました。

交代の発表とはいえ、私の任期はまだ
11ヶ月残っています。残された期間、安
倍政権の悪政の防波堤として、また、水
谷市政の監視役として、市民の暮らし・
福祉・教育などを守る役割を最後までつ
らぬき、菊地宏さんに議席を引き継ぐ
ために最後まで頑張つていきます。長い
間ありがとうございました。



・1952年網走生まれ
・網走向陽高校卒
・2012年雪印メグミルク退職
・現在、網走市委員副委員長

立候補の決意

私の両親は、60数年前に秋田から出
てきて日雇いをしながら私たち兄弟を
育ててくれました。

■入党へのいきさつ

「自分は何のために生き、何をした
いのか」わからず悶々としていた高校
時代に「日本民主青年同盟」に加盟し
ました。「なぜ貧富の差が生まれるの
か、どうすればみんなが幸せに暮らせ
る社会をつくれるのか、共産党とはど
んな政党なのか」を学びました。初め
て聞く話ばかりでした。

それでも3年の12月になつても就職先
を決められずにいた私に、共産党の方
は「もつと真剣に自分に向き合い、社
会の一員としてどう生きるのか考えな
さい」この一言が転機になり「どうせ

生きるなら、自分らしく楽しく、両
親も楽に暮らせる社会にしたい」と
共産党に入党し44年になりました。

■決意

6年前両親と同居する家を錦町に
建て、今は妻と母と一緒に暮らして
います。「キャットカーピングをしな
がら少しゆつくりしたい」と思っ
ていました。しかし、安倍政権が生ま
れて秘密保護法・憲法改悪の一連の
動き・TPP・原発再稼働などどれ
も市民にとって重要な問題ばかりで
す。私は特に消費税の増税反対の署
名活動に力を入れてきました。「増税
されたら生きていけない」と署名し
てくれる高齢者の方がいる一方、「国
が決めたからしょうがない」とあき
らめている方も結構います。テレビ、
ラジオ、新聞などから流される政府
広報のような記事に惑わされている
ためです。「消費税の凍結を求める網
走市民の会」の出した請願審議の委
員会でも「国が決めたこと」と市民
の声にも事業者の声にも耳を貸さな
い議員、議会がありました。市民の
生の声を聞き、市民といっしょに運
動する議員がもっと必要だとつくづ
く思いました。

共産党の議員の先輩たちがそう
だったように、徹底して市民に寄り
添い市民の声を届け、市民の声で動
く自治体を作ることには力を尽くし
たいと決意しました。

■今後の抱負

○国の政治そのままに行政改革だ
と言つて住民犠牲で市政が動いてい
ます。先ほども言いましたが、徹底
して市民の声を届けていきたい。仕
事をしていく方も職種も、勤務時間
も、給料も、地域も違う、そうゆう
方がたの生の声を届けてたい。又少子
高齢化の中で子供を産み育てるため
に何が必要なのか市民の声をしっか
り届けたい。高齢者とりわけひとり
暮らしの高齢者の方も状況はさまざ

まです。市民の声を届けることに
こだわりたいと思います。議
員定数削減の動きが強まってい
ますが、本当に市民の声を市政に
反映させようと思えばこうした
動きには、賛同できません。

○政治、市政の事をわかりやすく
市民のみなさんに伝えることに
力をつくしたいと思つています。
わからない用語、横文字もいっば
い出てきて困つている方もた
くさんいます。(文書)チラシ、宣
伝カーなども使つて、市政(政治)
をわかりやすく伝えることに力
をつくしたいと思つています。

○最後に安倍政権がその他の野
党を巻き込んで、集団的自衛権の
行使を憲法解釈を変えて、強引に
押しとうそうとしています。海外
に行つて戦争をする国にする、網
走の若者を、いま学校に通つて
いる子供たちが人を殺し殺され
るそんなことだけは避けなけれ
ばなりません。そのため市民の
皆さんと力のかぎり戦いたいと
思つていきます。

流水

◎6月に入り、太陽がキ
リキリと照りつけて雨が
降ってくるような様子は
なし。明日以降も続く。
雨はいつ来るのか？陽が
落ちた頃、我が家のささ

やかな山菜を収穫した。三つ葉、
ウド、蔦。畑を耕すより山わさ
びの成長が早くて収穫を優先にし
ている。◎テレビを入れると山菜
を楽しんでる豊かさを押しつける
がごとしのあれこれに、不安は増
大するが、山菜の強さに元気をも
らう！スコップ持つて我が家へど
ぞ！(て)